

1. 研究課題名

「薬剤師による処方支援を目的とした睡眠導入剤適正使用フォーミュラリーの導入がベンゾジアゼピン系薬剤の関連を否定できない転倒・転落の減少に寄与する可能性の考察」

2. 研究の対象：

2020年8月～2023年3月までの32ヶ月間、睡眠導入剤適正使用フォーミュラリーの対象となる新規で睡眠導入剤が開始された患者。

3. 研究期間：

2023年8月1日～2023年10月頃

4. 研究の目的：

当院では睡眠導入剤による転倒転落を防ぐため、薬剤師による仙台赤十字病院睡眠導入剤適正使用フォーミュラリーを作成した。当院入院中の睡眠導入剤を新規で開始した患者を対象に、フォーミュラリーに則った処方であるかどうか、また、フォーミュラリー導入により、ベンゾジアゼピン系睡眠薬の関連を否定できない転倒転落が減少したか調査し、関連性について解析を行う。

5. 研究の方法：

方法：2021年12月1日より睡眠導入剤フォーミュラリーが導入された前後16ヶ月の睡眠薬の新規処方数を比較した。また、調査対象の2020年8～2023年3月までの32ヶ月間、仙台赤十字病院の医療安全対策室に提出されたインシデント報告書をもとに、転倒転落が発生した患者の転倒要員を調査する。

解析方法：2群間の比較には連続変数に関して Mann-Whitney の U 検定、カテゴリ変数に関して Fisher 正確確立検定、 χ^2 検定を行う。全ての統計解析には EZR ver.1.61 を使用し、P 値が 0.05 未満を有意差ありとする。

6. 研究に用いる試料・情報の種類およびその取得方法：

情報：FUJITSU 電子カルテシステムより、同社診療DWHを用いて抽出した睡眠導入剤の処方オーダー歴を元に得られた患者一覧及び当院医療安全推進室より得られた当院転倒転落患者一覧より、該当患者の電子カルテ閲覧による睡眠導入剤の処方オーダー歴。

試料：無し

7. 外部への試料・情報の提供：

外部への試料・情報の提供は無し

本研究結果は、日本病院薬剤師会雑誌に投稿予定である。

8. 試料・情報を利用する者の範囲／研究組織：

研究責任者：中村 隆志

9. 問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書および関連する資料の閲覧が可能となっております。ご希望される方はお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

住所： 〒982-8501 宮城県仙台市太白区八木山本町二丁目 43 番 3

電話番号： 022-243-1111

研究責任者： 仙台赤十字病院 薬剤部 調剤係長 中村 隆志